3-1-12　植物の生育及び植生の状況

１．植物相の状況

植物相の状況については文献調査及び予備調査を行い整理した。

（１）文献調査

対象事業実施区域及びその周辺の植物相の状況について、既存資料を整理した。

確認した文献等は表3-1.29に示すとおりである。

表 3-1.29　植物種の確認文献等

文　献　名		整理の対象とした種
A	「千葉県の保護上重要な野生生物－千葉県レッドデータブック－植物・菌類編（2009 年改訂版）」（2009 年３月、千葉県環境生活部自然保護課）	調査対象とした野生植物のうち船橋市、市川市、習志野市で確認された種
B	「ふなばし環境マップ」（平成 12 年度調査結果、船橋市ホームページ）	調査対象とした野生植物のうち船橋市内のふなばし三番瀬海浜公園、船橋大神宮周辺で確認された種
C	「市川市自然環境実態調査報告書 2003 第一分冊」（2004 年 3 月 31 日、市川市環境清掃部自然環境課・市川市自然環境調査会）	市川市で確認された植物種
D	「河川環境データベース（河川水辺の国勢調査）」（国土交通省ホームページ）	調査対象とした野生植物のうち平成 20 年度において江戸川下流域で確認された種

既存資料により、対象事業実施区域及びその周辺で確認された植物は、表3-1.30に示すとおり、維管束植物で136科871種、非維管束植物で11科19種である。

表 3-1.30　文献等により確認された種数（植物）

分類	科	種
維管束植物	136	871
非維管束植物	11	19

（２）予備調査

対象事業実施区域の植物相の状況について、平成24年5月25日に予備調査を実施した。

確認された植物種数は表3-1.31に、主な確認種は表3-1.32に示すとおりである。

対象事業実施区域の植物相は、樹木の多くが植栽種であり、自然に侵入したと思われる種は72種であった。

表 3-1.31　予備調査で確認された種数（植物）

分類	科	種
維管束植物	46	101

表 3-1.32　予備調査における主な確認種（植物）

区分	確認種	種数
植栽種(樹木)	イチョウ、クロマツ、ヤマモモ、マテバシイ、タブノキ、ナンテン、キウイ、カナメモチ、アオキ、オオムラサキ、キョウチクトウ等	25種
植栽種(草本)	ツワブキ、ヨシ、バショウ、シラン	４種
自然に侵入したと考えられる種	ドクダミ、ユウゲショウ、ヘクソカズラ、ヨモギ、ヒメジョオン等	72種

２．重要種の状況

文献調査及び予備調査で確認された種について国、県及び各自治体が指定する選定根拠に基づき重要種の指定状況を整理した。

（１）選定根拠・基準

重要な植物種の選定根拠は表3-1.33に、選定基準は表3-1.34に示すとおりである。

表3-1.33　重要な植物種の選定根拠

選定根拠			選定基準
法令による指定	①	「文化財保護法」（昭和 25 年５月 30 日　法律第 214 号）	・特別天然記念物（特天） ・国指定天然記念物（国天）
	②	「千葉県文化財保護条例」（昭和 30 年 3 月 29 日　条例第 8 号）	・県指定天然記念物（県天）
	③	「船橋市文化財保護条例」（昭和 39 年 3 月 30 日　条例第 22 号） 「市川市文化財保護条例」（昭和 51 年 12 月 24 日　条例第 38 号） 「習志野市文化財保護条例」（昭和 45 年 12 月 25 日　条例第 47 号）	・市指定天然記念物（市天）
	④	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）」（平成４年６月５日　法律第 75 号）	・国内希少野生動植物種（国内） ・国際希少野生動植物種（国際） ・特定国内希少野生動植物種（特定） ・緊急指定種（緊急）
文献による指定	⑤	「絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト」（環境省　平成 24 年 8 月 28 日改訂）	・絶滅（EX） ・野生絶滅（EW） ・絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN） ・絶滅危惧ⅠＡ類（CR） ・絶滅危惧ⅠＢ類（EN） ・絶滅危惧Ⅱ類（VU） ・準絶滅危惧（NT） ・情報不足（DD） ・地域個体群（LP）
	⑥	「千葉県の保護上重要な野生生物 －千葉県レッドデータブック－植物・菌類編（2009 年改訂版）」（平成 21 年３月、千葉県環境生活部自然保護課）	・消息不明・絶滅生物（X） ・野生絶滅（EW） ・最重要保護生物（A）注１） ・重要保護生物（B）注１） ・最重要・重要保護生物（A-B）注2） ・要保護生物（C） ・一般保護生物（D） ・保護参考雑種（RH）

注１）維管束植物の場合。
注２）非維管束植物の場合。

表3-1.34　重要な植物種の選定基準

選定基準		評価基準
①	特別天然記念物	国指定天然記念物のうち特に重要な記念物について指定する。
	国指定天然記念物	国指定文化財のうち、動物（生息地、繁殖地及び渡来地を含む。）、植物（自生地を含む。）及び地質鉱物（特異な自然の現象の生じている土地を含む。）で我が国にとって学術上価値の高いもの。
②	県指定天然記念物	県指定文化財のうち、動物(生息地、繁殖地及び渡来地を含む。)、植物(自生地を含む。)及び地質鉱物（特異な自然の現象の生じている土地を含む。)で県にとって学術上価値の高いもの。
③	市指定天然記念物	市指定文化財のうち、動物(生息地、繁殖地及び渡来地を含む。)、植物(自生地を含む。)及び地質鉱物(特異な自然の現象の生じている土地を含む。)で市にとって学術上価値の高いもの。
④	国内希少野生動植物種	その個体が本邦に生息し又は生育する絶滅のおそれのある野生動植物の種であって、政令で定めるもの。
	国際希少野生動植物種	国際的に協力して種の保存を図ることとされている絶滅のおそれのある野生動植物の種（国内希少野生動植物種を除く。）であって、政令で定めるもの。
	特定国内希少野生動植物種	次に掲げる要件のいずれにも該当する国内希少野生動植物種であって、政令で定めるものをいう。 一 商業的に個体の繁殖をさせることができるものであること。 二 国際的に協力して種の保存を図ることとされているものでないこと。
	緊急指定種	環境大臣が、国内希少野生動植物種及び国際希少野生動植物種以外の野生動植物の種の保存を特に緊急に図る必要があると認めるときに指定する種。
⑤	絶滅（EX）	我が国ではすでに絶滅したと考えられる種。
	野生絶滅（ＥＷ）	飼育・栽培下でのみ存続している種。
	絶滅危惧 絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN）	絶滅の危機に瀕している種。
	絶滅危惧 絶滅危惧ＩＡ類(CR)	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。
	絶滅危惧 絶滅危惧ＩＢ類(EN)	ＩＡ類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。
	絶滅危惧 絶滅危惧Ⅱ類（VU）	絶滅の危険が増大している種。
	準絶滅危惧（NT）	存続基盤が脆弱な種。
	情報不足（DD）	評価するだけの情報が不足している種。
	地域個体群（LP）	地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの。
⑥	消息不明・絶滅生物（X）	かつては生息・生育が確認されていたにもかかわらず、近年長期（およそ 50 年間）にわたって確実な生存情報がなく、千葉県から絶滅した可能性が強い生物。
	野生絶滅（EW）	かつては千葉県に生息・生育していた生物の種類が、野生・自生では見られなくなったにもかかわらず、かつて千葉県に野生していた個体群の子孫が、飼育・栽培などによって、維持されているもの。特に埋土種子や埋土胞子などから再生した個体がありながら、本来の自生地では環境の変化によって生息・生育が維持できない状態の種。
	最重要保護生物（A）注1)	個体数が極めて少ない、生息・生育環境が極めて限られている、生息・生育地のほとんどが環境改変の危機にある、などの状況にある生物。
	重要保護生物（B）注1)	個体数がかなり少ない、生息・生育環境がかなり限られている、生息・生育地のほとんどが環境改変の可能性がある、などの状況にある生物。
	最重要・重要保護生物（A-B）注2)	個体数が極めて少なく、過去 50%以上の減少が推定され、生息環境が極めて限られている、あるいは現在知られている生息地が１から５箇所にとどまる生物。
	要保護生物（C）	個体数が少ない、生息・生育環境が限られている、生息・生育地の多くで環境改変の可能性がある、などの状況にある生物。放置すれば著しい個体数の減少は避けられず、近い将来カテゴリーＢに移行することが予測されるもの。
	一般保護生物（D）	個体数が少ない、生息・生育環境が限られている、生息・生育地の多くで環境改変の可能性がある、などの状況にある生物。放置すれば個体数の減少は避けられず、自然環境の構成要素としての役割が著しく衰退する可能性があり、近い将来カテゴリーＣに移行することが予測されるもの。
	保護参考雑種（RH）	自然界において形成されることが稀な雑種であって、個体数が著しく少なく、分布地域及び生息環境が著しく限定されているもの。

注１）維管束物種の場合。
注２）非維管束物種の場合。
注３）表中の①～⑥は、表 3-1.33 に示した法令、文献番号と一致する。

（２）文献調査により確認された重要種

対象事業実施区域及びその周辺で確認されている種のうち重要な植物種は、維管束植物は表3-1.35(1)～(5)に、非維管束植物は表3-1.36に示すとおりである。維管束植物が73科234種、非維管束植物が11科19種となっている。

表3-1.35(1)　重要な植物種（維管束植物）の状況

No	科	種	指定状況					
			①	②	③	④	⑤	⑥
1	ハナヤスリ科	トネハナヤスリ	－	－	－	－	VU	A
2	コケシノブ科	キヨスミコケシノブ	－	－	－	－	－	A
3	シノブ科	シノブ	－	－	－	－	－	B
4	チャセンシダ科	クモノスシダ	－	－	－	－	－	C
5		コバノヒノキシダ	－	－	－	－	－	D
6	オシダ科	オシダ	－	－	－	－	－	C
7	メシダ科	カラクサイヌワラビ	－	－	－	－	－	C
8	デンジソウ科	デンジソウ	－	－	－	－	VU	B
9	サンショウモ科	サンショウモ	－	－	－	－	VU	B
10	アカウキクサ科	オオアカウキクサ	－	－	－	－	EN	C
11	クルミ科	オニグルミ	－	－	－	－	－	D
12	ヤナギ科	バッコヤナギ	－	－	－	－	－	D
13		キツネヤナギ	－	－	－	－	－	D
14	カバノキ科	ヤマハンノキ	－	－	－	－	－	D
15		クマシデ	－	－	－	－	－	D
16		アカシデ	－	－	－	－	－	D
17		ハシバミ	－	－	－	－	－	D
18	ブナ科	カシワ	－	－	－	－	－	C
19		ウバメガシ	－	－	－	－	－	B
20	イラクサ科	トキホコリ	－	－	－	－	VU	B
21	ヤドリギ科	ヒノキバヤドリギ	－	－	－	－	－	B
22	タデ科	ホソバイヌタデ	－	－	－	－	NT	C
23		ナガバノウナギツカミ	－	－	－	－	NT	C
24		ヌカボタデ	－	－	－	－	VU	C
25		コギシギシ	－	－	－	－	VU	－
26	ナデシコ科	フシグロセンノウ	－	－	－	－	－	C
27	アカザ科	マツナ	－	－	－	－	－	B
28		ハママツナ	－	－	－	－	－	C
29	ヒユ科	ヤナギイノコズチ	－	－	－	－	－	D
30	キンポウゲ科	イチリンソウ	－	－	－	－	－	C
31		カザグルマ	－	－	－	－	NT	B
32		クサボタン	－	－	－	－	－	D
33		コキツネノボタン	－	－	－	－	VU	A
34		ヒキノカサ	－	－	－	－	VU	B
35		ノカラマツ	－	－	－	－	VU	B
36	メギ科	イカリソウ	－	－	－	－	－	D
37	スイレン科	ジュンサイ	－	－	－	－	－	A
38		オニバス	－	－	－	－	VU	A
39		コウホネ	－	－	－	－	－	B
40	マツモ科	マツモ	－	－	－	－	－	C
41	センリョウ科	センリョウ	－	－	－	－	－	C
42	オトギリソウ科	トモエソウ	－	－	－	－	－	C
43		ヒメオトギリ	－	－	－	－	－	B
44		アゼオトギリ	－	－	－	－	EN	A
45	モウセンゴケ科	シロバナナガバノイシモチソウ	－	－	－	－	－	A
46		モウセンゴケ	－	－	－	－	－	C
47	ケシ科	ミヤマキケマン	－	－	－	－	－	D
48	アブラナ科	コイヌガラシ	－	－	－	－	NT	D
49	ベンケイソウ科	キリンソウ	－	－	－	－	－	C
50		アズマツメクサ	－	－	－	－	NT	A
51	ユキノシタ科	コアジサイ	－	－	－	－	－	B
52		タコノアシ	－	－	－	－	NT	－

注１）指定状況の①～⑥は、表3-1.33、表3-1.34及び以下に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。

注２）各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ以下のことを示している。

① / 特天:特別天然記念物、国天:国指定天然記念物

② / 県天:県指定天然記念物

③ / 市天:市指定天然記念物

④ / 国際:国際希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種、特国内:特定国内希少野生動植物種、緊急:緊急指定種

⑤ / EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:地域個体群

⑥ / X:消息不明・絶滅生物、EW:野生絶滅、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、RH:保護参考雑種

表3-1.35(2)　重要な植物種（維管束植物）の状況

No	科	種	指定状況					
			①	②	③	④	⑤	⑥
53	ユキノシタ科	ヤブサンザシ	－	－	－	－	－	B
54	バラ科	ヤマブキショウマ	－	－	－	－	－	B
55		ズミ	－	－	－	－	－	B
56		カワラサイコ	－	－	－	－	－	C
57		ヒロハノカワラサイコ	－	－	－	－	VU	D
58		エドヒガン	－	－	－	－	－	D
59		ハマナス	－	－	－	－	－	D
60	マメ科	タヌキマメ	－	－	－	－	－	C
61		サイカチ	－	－	－	－	－	D
62		レンリソウ	－	－	－	－	－	C
63		イヌハギ	－	－	－	－	VU	B
64		イヌエンジュ	－	－	－	－	－	D
65	フウロソウ科	タチフウロ	－	－	－	－	－	D
66	アマ科	マツバニンジン	－	－	－	－	CR	A
67	トウダイグサ科	センダイタイゲキ	－	－	－	－	NT	B
68	ミカン科	フユザンショウ	－	－	－	－	－	C
69	ツリフネソウ科	キツリフネ	－	－	－	－	－	C
70	モチノキ科	アオハダ	－	－	－	－	－	D
71	クロウメモドキ科	クロウメモドキ	－	－	－	－	－	B
72	ジンチョウゲ科	コガンピ	－	－	－	－	－	B
73	スミレ科	タチスミレ	－	－	－	－	VU	A
74		ヒカゲスミレ	－	－	－	－	－	C
75	アカバナ科	ウシタキソウ	－	－	－	－	－	D
76		ミズキンバイ	－	－	－	－	VU	B
77	アリノトウグサ科	フサモ	－	－	－	－	－	C
78	セリ科	エキサイゼリ	－	－	－	－	NT	A
79		ハマボウフウ	－	－	－	－	－	C
80		シムラニンジン	－	－	－	－	VU	A
81		イブキボウフウ	－	－	－	－	－	C
82		ムカゴニンジン	－	－	－	－	－	C
83		サワゼリ	－	－	－	－	VU	C
84	イチヤクソウ科	ウメガサソウ	－	－	－	－	－	C
85		シャクジョウソウ	－	－	－	－	－	D
86	サクラソウ科	ノジトラノオ	－	－	－	－	VU	C
87	マチン科	ヒメナエ	－	－	－	－	VU	B
88		アイナエ	－	－	－	－	－	B
89	リンドウ科	ホソバリンドウ	－	－	－	－	－	B
90		コケリンドウ	－	－	－	－	－	D
91		イヌセンブリ	－	－	－	－	VU	B
92		センブリ	－	－	－	－	－	D
93	ミツガシワ科	ミツガシワ	－	－	－	－	－	B
94		ガガブタ	－	－	－	－	NT	C
95		アサザ	－	－	－	－	NT	B
96	ガガイモ科	フナバラソウ	－	－	－	－	VU	B
97		スズサイコ	－	－	－	－	NT	C
98		コイケマ	－	－	－	－	－	C
99	アカネ科	キヌタソウ	－	－	－	－	－	B
100		ヤブムグラ	－	－	－	－	VU	B
101	クマツヅラ科	コムラサキ	－	－	－	－	－	B
102		イワダレソウ	－	－	－	－	－	D
103	シソ科	ジュウニヒトエ	－	－	－	－	－	D
104		ミズトラノオ	－	－	－	－	VU	B

注１）指定状況の①～⑥は、表3-1.33、表3-1.34及び以下に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。

注２）各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ以下のことを示している。

① / 特天:特別天然記念物、国天:国指定天然記念物

② / 県天:県指定天然記念物

③ / 市天:市指定天然記念物

④ / 国際:国際希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種、特国内:特定国内希少野生動植物種、緊急:緊急指定種

⑤ / EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:地域個体群

⑥ / X:消息不明・絶滅生物、EW:野生絶滅、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、RH:保護参考雑種

表3-1.35(3)　重要な植物種（維管束植物）の状況

No	科	種	指定状況					
			①	②	③	④	⑤	⑥
105	シソ科	キセワタ	－	－	－	－	VU	C
106		ヒメハッカ	－	－	－	－	NT	B
107		ヤマジソ	－	－	－	－	NT	C
108		ミゾコウジュ	－	－	－	－	NT	D
109		ヒメナミキ	－	－	－	－	－	D
110		コバノタツナミソウ	－	－	－	－	－	D
111	ナス科	ヤマホロシ	－	－	－	－	－	C
112		オオマルバノホロシ	－	－	－	－	－	C
113	ゴマノハグサ科	ゴマクサ	－	－	－	－	VU	B
114		サワトウガラシ	－	－	－	－	－	B
115		アブノメ	－	－	－	－	－	C
116		オオアブノメ	－	－	－	－	VU	A
117		シソクサ	－	－	－	－	－	D
118		シオガマギク	－	－	－	－	－	B
119		ヒメトラノオ	－	－	－	－	－	B
120		ゴマノハグサ	－	－	－	－	VU	C
121		ヒキヨモギ	－	－	－	－	－	D
122		イヌノフグリ	－	－	－	－	VU	－
123	タヌキモ科	ノタヌキモ	－	－	－	－	VU	B
124		ミミカキグサ	－	－	－	－	－	B
125		ホザキノミミカキグサ	－	－	－	－	－	B
126		ムラサキミミカキグサ	－	－	－	－	NT	B
127	オミナエシ科	オミナエシ	－	－	－	－	－	D
128	キキョウ科	サワギキョウ	－	－	－	－	－	B
129		タニギキョウ	－	－	－	－	－	D
130		キキョウ	－	－	－	－	VU	A
131	キク科	ヤマハハコ	－	－	－	－	－	C
132		ヒメシオン	－	－	－	－	－	B
133		サワシロギク	－	－	－	－	－	B
134		ウラギク	－	－	－	－	NT	C
135		タカアザミ	－	－	－	－	－	D
136		シロバナタカアザミ	－	－	－	－	－	C
137		マアザミ	－	－	－	－	－	B
138		アワコガネギク	－	－	－	－	NT	C
139		フジバカマ	－	－	－	－	NT	A
140		アキノハハコグサ	－	－	－	－	EN	B
141		オグルマ	－	－	－	－	－	C
142		カセンソウ	－	－	－	－	－	C
143		ノニガナ	－	－	－	－	－	D
144		オオニガナ	－	－	－	－	－	C
145		ハバヤマボクチ	－	－	－	－	－	B
146		オナモミ	－	－	－	－	VU	－
147	オモダカ科	サジオモダカ	－	－	－	－	－	B
148		トウゴクヘラオモダカ	－	－	－	－	VU	C
149		アギナシ	－	－	－	－	NT	C
150	トチカガミ科	クロモ	－	－	－	－	－	C
151		トチカガミ	－	－	－	－	NT	C
152		ミズオオバコ	－	－	－	－	VU	C
153		セキショウモ	－	－	－	－	－	C
154	ヒルムシロ科	ササバモ	－	－	－	－	－	D
155		ホソバミズヒキモ	－	－	－	－	－	B
156		ツツイトモ	－	－	－	－	VU	A

注１）指定状況の①～⑥は、表3-1.33、表3-1.34及び以下に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。

注２）各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ以下のことを示している。

① / 特天:特別天然記念物、国天:国指定天然記念物

② / 県天:県指定天然記念物

③ / 市天:市指定天然記念物

④ / 国際:国際希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種、特国内:特定国内希少野生動植物種、緊急:緊急指定種

⑤ / EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:地域個体群

⑥ / X:消息不明・絶滅生物、EW:野生絶滅、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、RH:保護参考雑種

表3-1.35(4)　重要な植物種（維管束植物）の状況

No	科	種	指定状況					
			①	②	③	④	⑤	⑥
157	ヒルムシロ科	リュウノヒゲモ	－	－	－	－	NT	B
158		イトモ	－	－	－	－	NT	A
159		カワツルモ	－	－	－	－	NT	A
160	アマモ科	コアマモ	－	－	－	－	－	D
161	イバラモ科	イバラモ	－	－	－	－	－	A
162	ユリ科	コオニユリ	－	－	－	－	－	C
163		ワニグチソウ	－	－	－	－	－	B
164		アマナ	－	－	－	－	－	C
165	ミズアオイ科	ミズアオイ	－	－	－	－	NT	C
166	アヤメ科	ノハナショウブ	－	－	－	－	－	B
167		カキツバタ	－	－	－	－	NT	A
168		アヤメ	－	－	－	－	－	B
169	イグサ科	ドロイ	－	－	－	－	－	B
170	ホシクサ科	ホシクサ	－	－	－	－	－	C
171		イトイヌノヒゲ	－	－	－	－	－	C
172		ニッポンイヌノヒゲ	－	－	－	－	－	C
173	イネ科	ハネガヤ	－	－	－	－	－	D
174		チョウセンガリヤス	－	－	－	－	－	D
175		ヒメウキガヤ	－	－	－	－	－	D
176		ササクサ	－	－	－	－	－	C
177		ミノボロ	－	－	－	－	－	C
178		ヌマガヤ	－	－	－	－	－	B
179		キダチノネズミガヤ	－	－	－	－	－	A
180		チャボチヂミザサ	－	－	－	－	－	D
181		アイアシ	－	－	－	－	－	D
182		セイタカヨシ	－	－	－	－	－	C
183		ハマヒエガエリ	－	－	－	－	－	B
184		ウキシバ	－	－	－	－	－	C
185		イヌアワ	－	－	－	－	－	D
186		オオアブラススキ	－	－	－	－	－	D
187	ミクリ科	ミクリ	－	－	－	－	NT	C
188	カヤツリグサ科	ハタガヤ	－	－	－	－	－	D
189		イトハナビテンツキ	－	－	－	－	－	C
190		ジョウロウスゲ	－	－	－	－	VU	D
191		オニスゲ	－	－	－	－	－	D
192		ウマスゲ	－	－	－	－	－	B
193		オキナワジュズスゲ	－	－	－	－	－	D
194		チュウゼンジスゲ	－	－	－	－	－	D
195		ヤガミスゲ	－	－	－	－	－	C
196		ホナガヒメゴウソ	－	－	－	－	－	D
197		タカネマスクサ	－	－	－	－	－	D
198		ヤブスゲ	－	－	－	－	－	B
199		アブラシバ	－	－	－	－	－	B
200		シオクグ	－	－	－	－	－	D
201		オニナルコスゲ	－	－	－	－	－	D
202		イヌクグ	－	－	－	－	－	D
203		カンエンガヤツリ	－	－	－	－	VU	D
204		キンガヤツリ	－	－	－	－	－	B
205		シロガヤツリ	－	－	－	－	－	D
206		コツブヌマハリイ	－	－	－	－	VU	B
207		コアゼテンツキ	－	－	－	－	－	C
208		オオアゼテンツキ	－	－	－	－	－	C

注１）指定状況の①～⑥は、表3-1.33、表3-1.34及び以下に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。

注２）各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ以下のことを示している。

① / 特天:特別天然記念物、国天:国指定天然記念物

② / 県天:県指定天然記念物

③ / 市天:市指定天然記念物

④ / 国際:国際希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種、特国内:特定国内希少野生動植物種、緊急:緊急指定種

⑤ / EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:地域個体群

⑥ / X:消息不明・絶滅生物、EW:野生絶滅、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、RH:保護参考雑種

表3-1.35(5)　重要な植物種（維管束植物）の状況

No	科	種	指定状況					
			①	②	③	④	⑤	⑥
209	カヤツリグサ科	ノテンツキ	－	－	－	－	－	D
210		イソヤマテンツキ	－	－	－	－	－	D
211		ナガボテンツキ	－	－	－	－	－	C
212		アオテンツキ	－	－	－	－	－	D
213		イトイヌノハナヒゲ	－	－	－	－	－	B
214		コイヌノハナヒゲ	－	－	－	－	－	A
215		コマツカサススキ	－	－	－	－	－	B
216		イセウキヤガラ	－	－	－	－	－	C
217		タタラカンガレイ	－	－	－	－	－	D
218		コシンジュガヤ	－	－	－	－	－	B
219	ラン科	シラン	－	－	－	－	NT	C
220		エビネ	－	－	－	－	NT	D
221		ギンラン	－	－	－	－	－	C
222		キンラン	－	－	－	－	VU	D
223		ササバギンラン	－	－	－	－	－	C
224		クゲヌマラン	－	－	－	－	VU	B
225		サイハイラン	－	－	－	－	－	C
226		マヤラン	－	－	－	－	VU	C
227		サガミラン	－	－	－	－	－	C
228		クマガイソウ	－	－	－	－	VU	B
229		ハマカキラン	－	－	－	－	VU	A
230		カキラン	－	－	－	－	－	B
231		ミヤマウズラ	－	－	－	－	－	D
232		サギソウ	－	－	－	－	NT	A
233		クモキリソウ	－	－	－	－	－	C
234		コクラン	－	－	－	－	－	D
合計	73 科	234 種	0 種	0 種	0 種	0 種	74 種	230 種

注１）指定状況の①～⑥は、表3-1.33、表3-1.34及び以下に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。

注２）各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ以下のことを示している。

① / 特天:特別天然記念物、国天:国指定天然記念物

② / 県天:県指定天然記念物

③ / 市天:市指定天然記念物

④ / 国際:国際希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種、特国内:特定国内希少野生動植物種、緊急:緊急指定種

⑤ / EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:地域個体群

⑥ / X:消息不明・絶滅生物、EW:野生絶滅、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、RH:保護参考雑種

表3-1.36　重要な植物種（非維管束植物）の状況

No	科	種	指定状況					
			①	②	③	④	⑤	⑥
1	ウキゴケ科	ウキゴケ	－	－	－	－	－	D
2		イチョウウキゴケ	－	－	－	－	NT	D
3	ホウゴケ科	ユウレイホウオウゴケ	－	－	－	－	－	C
4	クサリゴケ科	ナガシタバヨウジョウゴケ	－	－	－	－	－	C
5	ツノゴケ科	コニワツノゴケ	－	－	－	－	－	D
6	シャジクモ科	シャジクモ	－	－	－	－	VU	D
7		シラタマモ	－	－	－	－	CR+EN	A-B
8		イノカシラフラスコモ	－	－	－	－	CR+EN	A-B
9		ホシツリモ	－	－	－	－	CR+EN	A-B
10	ウシケノリ科	カイガラアマノリ	－	－	－	－	CR+EN	A-B
11	カワモズク科	カワモズク	－	－	－	－	VU	D
12		アオカワモズク	－	－	－	－	NT	D
13		チャイロカワモズク	－	－	－	－	NT	D
14	タコウキン科	ブクリョウ	－	－	－	－	－	D
15	ベニタケ科	ヒロハシデチチタケ	－	－	－	－	－	D
16	テングタケ科	ウスキテングタケ	－	－	－	－	－	D
17	イグチ科	ムラサキヤマドリタケ	－	－	－	－	－	D
18		スミゾメヤマイグチ	－	－	－	－	－	D
19		ホオベニシロアシイグチ	－	－	－	－	－	D
合計	11 科	19 種	0 種	0 種	0 種	0 種	9 種	19 種

注１）指定状況の①～⑥は、表3-1.33、表3-1.34及び以下に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。
注２）各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ以下のことを示している。
① / 特天:特別天然記念物、国天:国指定天然記念物
② / 県天:県指定天然記念物
③ / 市天:市指定天然記念物
④ / 国際:国際希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種、特国内:特定国内希少野生動植物種、緊急:緊急指定種
⑤ / EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:地域個体群
⑥ / X:消息不明・絶滅生物、EW:野生絶滅、A-B:最重要・重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、RH:保護参考雑種

（３）予備調査により確認された重要種

予備調査ではウバメガシ、シランを確認したが、いずれも花壇等に生育し明確に植栽されたものと考えられることから重要種として扱わなかった。

なお、ウバメガシ、シランの確認状況については資料編（資料６－１）に示すとおりである。

３．植生の状況

植生の状況については文献調査及び予備調査を行った。

（１）文献調査

対象事業実施区域及びその周辺の植生の状況について「第６回・７回　自然環境保全基礎調査」（環境省ホームページ）を基に整理した。

対象事業実施区域及びその周辺の植生の状況は図3-1.24に示すとおりである。

対象事業実施区域及びその周辺は工場地帯と市街地が広がっているため、人為の影響を強く受けた自然度の低い植生が分布し、自然林や自然度の高い植生はほとんどない。

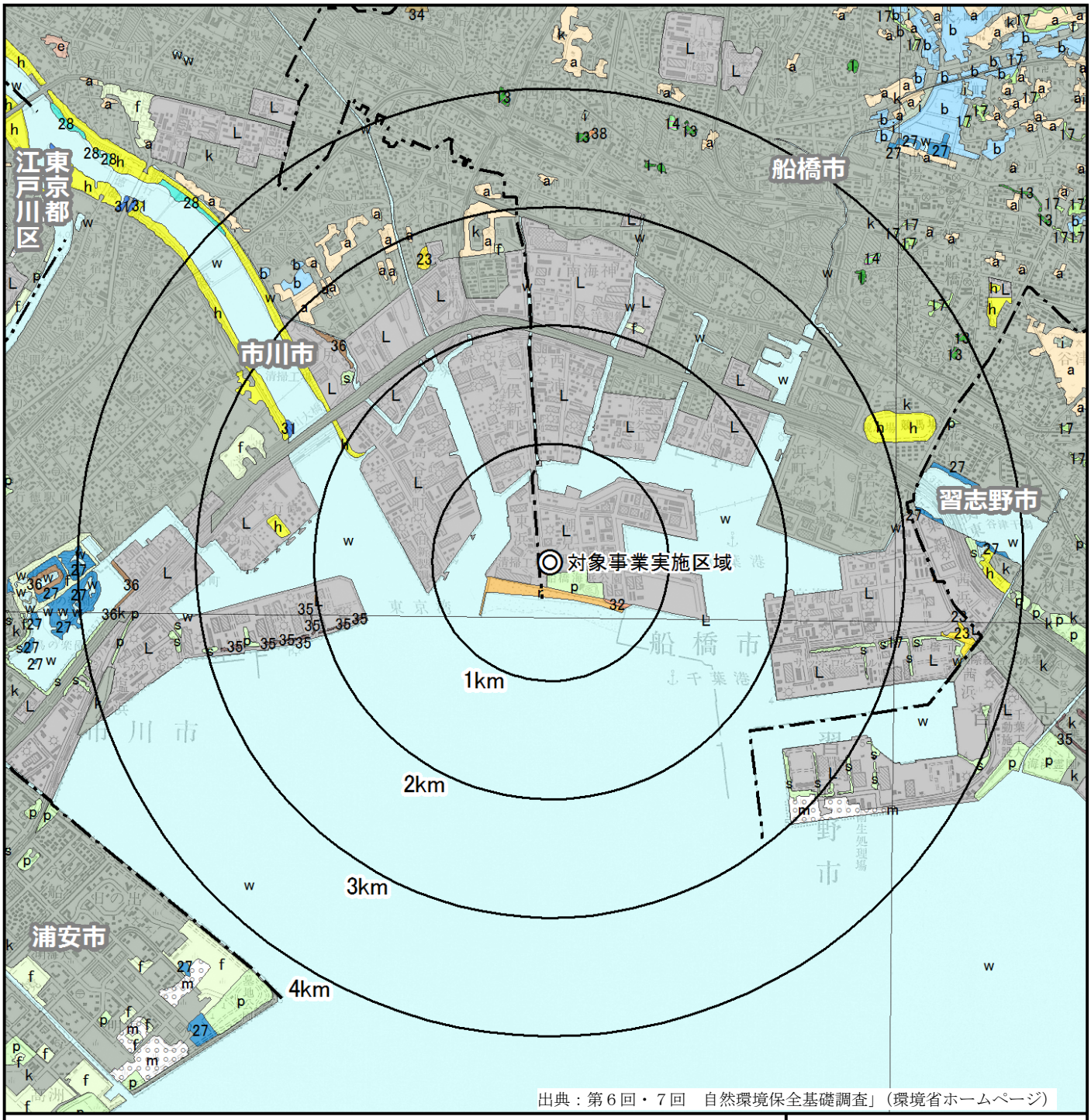
対象事業実施区域南側には、残存・植栽樹群を持った公園である「ふなばし三番瀬海浜公園」及び三番瀬に続く自然裸地が存在する。

（２）予備調査

対象事業実施区域及びその周辺200ｍの土地利用の状況について、平成24年5月25日に予備調査を実施した。

予備調査で確認した対象事業実施区域及びその周辺200ｍの土地利用の状況は図3-1.25に示すとおりである。

対象事業実施区域及びその周辺200ｍは、その多くが道路・駐車場、建造物などであり、植物の生育箇所についても人工的な草地、植栽地となっている。ふなばし三番瀬海浜公園の海浜部のみが自然の草地（または自然裸地）と考えられる。



出典：第６回・７回　自然環境保全基礎調査」（環境省ホームページ）

凡　例

この地図は、国土地理院発行の１：50,000 地形図「東京東北部」「東京東南部」「佐倉」「千葉」を使用したものである。

都県境　市境　◎ 対象事業実施区域

1	ヤブコウジースダジイ群集	38	竹林
12	シイ・カシ二次林	h	ゴルフ場・芝地
13	ケヤキーシラカシ群落	f	路傍・空地雑草群落
14	シラカシ屋敷林	e	果樹園
17	クヌギーコナラ群集	a	畑雑草群落
21	メダケ群落	b	水田雑草群落
2	ススキ群団（ＶＩＩ）	k	市街地
27	ヨシクラス	i	緑の多い住宅地
28	オギ群集	p	残存・植栽樹群をもった公園、墓地等
31	塩沼地植生	L	工場地帯
32	砂丘植生	m	造成地
34	スギ・ヒノキ・サワラ植林	w	開放水域
35	クロマツ植林	r	自然裸地
36	その他植林	s	残存・植栽樹群地

N

１：５０，０００

0　500m　1km　2km

図 3-1.24　対象事業実施区域及びその周辺の植生図

凡　例

- 対象事業実施区域
- 調査地域
- 造成裸地・グラウンド
- 雑種地
- 道路・駐車場(計量棟エリアを含む)
- 建造物・その他
- 開放水面
- 植栽(芝地・花壇・その他草地等)
- 植栽(樹木)
- 自然裸地・草地

この地図は、船橋市発行の 1:2,500 白地図 「42-16」「43-13」「45-4」「46-1」(H17.7) を使用したものである。

N

1：5，000

0　50m　100m　200m

図 3-1.25　対象事業実施区域及びその周辺 200m の土地利用の状況

４．特定植物群落の状況

対象事業実施区域及びその周辺の特定植物群落の状況について「第２回・３回・５回　自然環境保全基礎調査　特定植物群落調査」（環境省ホームページ）を基に整理した。

特定植物群落は、表3-1.37に示すとおり対象実施区域から北東に概ね５km離れた船橋市の八坂神社のシイ・カシ林がある。

表3-1.37　対象事業実施区域及びその周辺の特定植物群落の状況

区分	市	樹種名	所在地
特定植物群落	船橋市	シイ・カシ林	八坂神社

出典：「第２回・３回・５回　自然環境保全基礎調査　特定植物群落調査」（環境省ホームページ）

凡　例

都県境　　市境　　◎　対象事業実施区域

●　特定植物群落

出典：「第２回・３回・５回　自然環境保全基礎調査　特定植物群落調査」
（環境省ホームページ）

この地図は、国土地理院発行の1：50,000地形図「東京東北部」「東京東南部」「佐倉」「千葉」を使用したものである。

N

１：５０，０００

0　500m　1km　2km

図 3-1.26　対象事業実施区域及びその周辺の特定植物群落

５．巨樹・巨木の状況

対象事業実施区域及びその周辺の巨樹・巨木の状況について文献調査を行った。

確認した文献等は表3-1.38に示すとおりである。

また、対象事業実施区域及びその周辺で確認された巨樹・巨木は表3-1.39(1)、(2)及び図3-1.27に示すとおりである。

表3-1.38　巨樹・巨木の確認文献等

文　献　名		対象
A	「第４回・６回　自然環境保全基礎調査　巨樹・巨木林調査」(環境省ホームページ)	対象事業実施区域及びその周辺の巨樹・巨木
B	「ふるさとの巨樹・古木に会いに行こう！～千葉県の巨樹・古木 200 選～」（平成 17 年 12 月 31 日　NPO 法人　樹の生命を守る会）	対象事業実施区域及びその周辺に位置する巨樹・古木
C	「ふなばし環境マップ」(平成 11～13 年度調査結果、船橋市ホームページ)	船橋市の指定樹木
D	「ふなばし巨木・名木マップ」（平成 24 年 9 月 30 日　北総の森・巨樹古木研究会）	船橋市の巨木・名木

表3-1.39(1)　対象事業実施区域及びその周辺の巨樹・巨木の状況

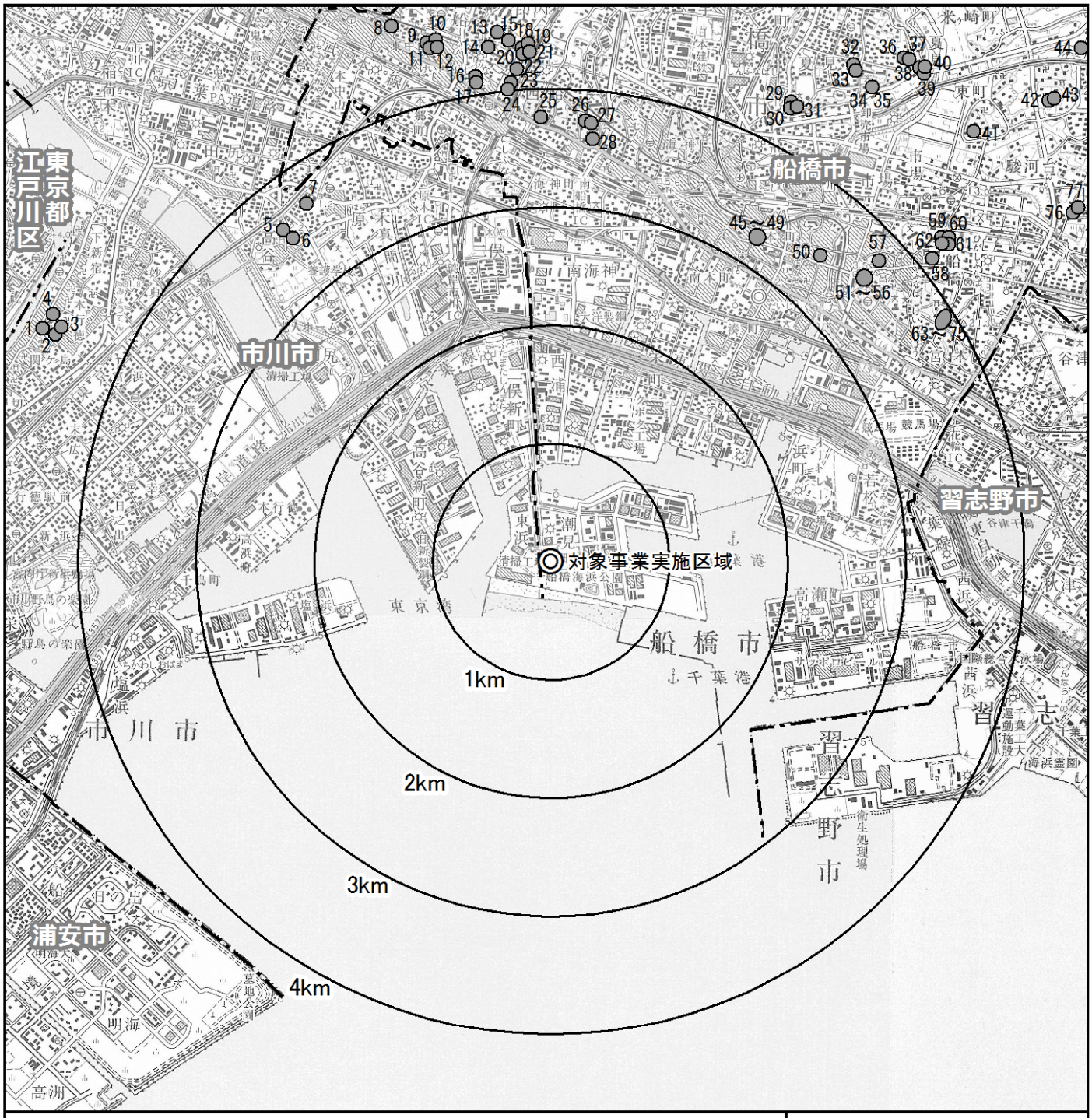
区分	市	地点番号	樹種名	所在地
巨樹・巨木	市川市	1	イチョウ	神明神社
		2	イチョウ	神明神社
		3	イチョウ	神明神社
		4	イチョウ	八幡神社
		5	ケヤキ	大鷲神社
		6	ケヤキ	大鷲神社
		7	ケヤキ	大鷲神社
	船橋市	8	クスノキ	稲荷神社
		9	イチョウ	羽黒神社
		10	イチョウ	羽黒神社
		11	ケヤキ	羽黒神社
		12	エノキ	羽黒神社
		13	ケヤキ	葛羅の井
		14	ヤブニッケイ	宝成寺
		15	ポプラ	葛飾小学校
		16	クロマツ	葛飾神社
		17	マツ	葛飾神社
		18	ケヤキ	－
		19	ケヤキ	－
		20	ケヤキ	－
		21	ケヤキ	－
		22	イチョウ	正延寺
		23	クロマツ	春日神社
		24	スダジイ	春日神社
		25	スダジイ	斜面林
		26	ケヤキ	浅間神社
		27	クスノキ	浅間神社
		28	ケヤキ	－
		29	タブノキ	塙塚稲荷
		30	スダジイ	塙塚稲荷
		31	エノキ	塙塚稲荷
		32	ケヤキ	稲荷神社
		33	スダジイ	日枝神社
		34	スダジイ	薬王寺
		35	タブノキ	薬王寺
		36	カヤ	稲荷神社
		37	ケヤキ	稲荷神社
		38	スダジイ	長福寺
		39	スダジイ	長福寺
		40	スダジイ	長福寺
		41	タブノキ	意富比神社
		42	スダジイ	神明神社
		43	クスノキ	神明神社
		44	エノキ	二十三夜塔脇
		45	イチョウ	稲荷神社
		46	イチョウ	稲荷神社
		47	イチョウ	稲荷神社
		48	イチョウ	稲荷神社
		49	イチョウ	稲荷神社
		50	ケヤキ	厳島神社
		51	イチョウ	意富比神社
		52	イチョウ	意富比神社
		53	イチョウ	意富比神社
		54	イチョウ	意富比神社
		55	イチョウ	意富比神社
		56	イチョウ	意富比神社

出典：「第４回・６回　自然環境保全基礎調査　巨樹・巨木林調査」
（環境省ホームページ）
「ふるさとの巨樹・古木に会いに行こう！～千葉県の巨樹・古木200選～」
（平成17年12月31日　NPO法人　樹の生命を守る会）
「ふなばし環境マップ」（平成11～13年度調査結果、船橋市ホームページ）
「ふなばし巨木・名木マップ」（平成24年9月30日　北総の森・巨樹古木研究会）

表 3-1.39(2)　対象事業実施区域及びその周辺の巨樹・巨木の状況

区分	市	地点番号	樹種名	所在地
巨樹・巨木	船橋市	57	クスノキ	西福寺
		58	イチョウ	日枝神社
		59	タブ	道祖神社
		60	タブ	道祖神社
		61	タブ	道祖神社
		62	イチョウ	道祖神社
		63	マツ	－
		64	マツ	－
		65	マツ	－
		66	マツ	－
		67	マツ	－
		68	マツ	－
		69	マツ	－
		70	マツ	－
		71	マツ	－
		72	マツ	－
		73	マツ	－
		74	マツ	－
		75	マツ	－
		76	ケヤキ	八坂神社
		77	ケヤキ	八坂神社

出典：「第４回・６回　自然環境保全基礎調査　巨樹・巨木林調査」
（環境省ホームページ）
「ふるさとの巨樹・古木に会いに行こう！～千葉県の巨樹・古木200選～」
（平成17年12月31日　NPO法人　樹の生命を守る会）
「ふなばし環境マップ」（平成11～13年度調査結果、船橋市ホームページ）
「ふなばし巨木・名木マップ」（平成24年9月30日　北総の森・巨樹古木研究会）



凡　例

都県境　　市境　　◎ 対象事業実施区域

● 巨樹・巨木

出典：「第４回・６回　自然環境保全基礎調査　巨樹・巨木林調査」（環境省ホームページ）
「ふるさとの巨樹・古木に会いに行こう！～千葉県の巨樹・古木200選～」
（平成17年12月31日　NPO法人　樹の生命を守る会）
「ふなばし環境マップ」（平成11～13年度調査結果、船橋市ホームページ）
「ふなばし巨木・名木マップ」（平成24年9月30日　北総の森・巨樹古木研究会）

この地図は、国土地理院発行の1：50,000地形図「東京東北部」「東京東南部」「佐倉」「千葉」を使用したものである。

N

1：50，000

0　500m　1km　2km

図 3-1.27　対象事業実施区域及びその周辺の巨樹・巨木